

学年毎の目標の段階表【小学校 第2学年】

話すこと (I) → 『Spoken Interaction』
読むこと (音) → 『音読』

話すこと (P) → 『Spoken Production』
読むこと (理) → 『内容理解』

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

外国語理解・表現の能力

言語や文化についての知識・理解

	取組	話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	実施時期・方法
聞く (I)	<ul style="list-style-type: none"> 間違えることを恐れず英語を積極的に聞いている。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に聞いている。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に聞いている。 理解できないことを表情等で示しながら積極的に聞いている。 うなずいたり、「OK.」等の表現を用いたりして、理解していることを示しながら積極的に聞いている。 	自分自身や身近な生活について	話し手の好きなこと、欲しいもの、できること及び物の数や大きさ等の事実を	話の内容のポイントを繰り返すことで、理解していることを、伝えながら ・大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして ・聞き取れない時や理解できない時 "Pardon?", "One more time, please."等で繰り返しを求めながら、	ゆっくりはっきりと話される2～3文程度の英語を聞くことができる。	できること、及び物の数や大きさ等を問答する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	・パフォーマンステスト 第1回「いくつかな」 第2回「なにいろにしようかな」 第3回「かたちであそぼう」 第4回 1年間のまとめ ・各単元末に行う言語知識を計るテスト(チャレンジクイズ) ・聞くことを指導の中心とする単元後に行う、まとまりのある英文を聞き取れるかどうかを計るリスニングテスト
話す (I)	<ul style="list-style-type: none"> 間違えることを恐れず英語を積極的に聞いている。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に聞いている。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に聞いている。 "OK?"等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。 	自分自身や身近な生活について	話し手の好きなこと、欲しいもの、できること及び物の数や大きさ等を	絵や写真、具体物等を指し示して分かりやすく ・聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で ・英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら	7語前後、1～2往復程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、できること及び物の数や大きさ等を問答する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	・パフォーマンステスト 第1回「いくつかな?」 第2回「はにいいものなあに?」 第3回「おいしいスープをつくろう」 第4回 1年間のまとめ
読む (I)								
読む (理)	<ul style="list-style-type: none"> 間違えることを恐れず積極的に音読している。 読み間違えたときに読み直して積極的に音読している。 			見本と見比べながら、声量や明瞭さに留意して	アルファベットの小文字を名前読みすることに慣れ親しむ。	アルファベットには大文字と小文字があることを理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	【評価しない】
書く (理)								
書く (理)	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの小文字を形作ったり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。 アルファベットの大文字を形作ったり、書いたりする活動に、積極的に取り組んでいる。 見本を手がかりにして積極的に書いている。 			形や4線を意識して	自分が活動で用いたアルファベットの小文字を書くことに慣れ親しむ。	アルファベットの小文字は4線上の様々な位置に書くことに気付いている。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	【評価しない】